

# 認証制度活用事典 第4版 紹介

## I. 事典の概要と第4版の改訂ポイント

## II. 認証制度活用事典の効果的活用方法の紹介

- (1) 技術法規担当部門の新人、中堅、責任者  
それぞれの立場での事典活用方法
- (2) 技術法規担当者が、社内に認証制度を  
認識させるための事典活用方法

## I. 事典の概要と 第4版の改訂ポイント

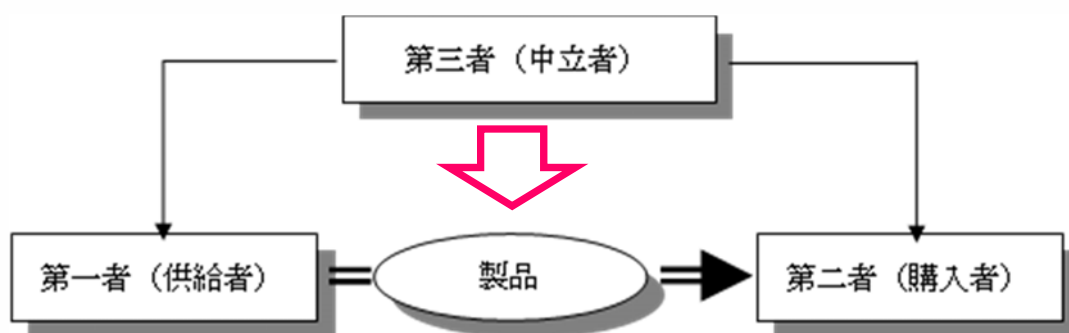
## 事典の概要

| 章  | 概要                                           | 読んでほしい人         |
|----|----------------------------------------------|-----------------|
| 1章 | 認証の基本概念<br>(認証とは)                            | 一般社員向け          |
| 2章 | 国内外認証制度の現状<br>(日本、北米、EU、中国、サウジアラビア、関税同盟、インド) | 認証技術者<br>向け     |
| 3章 | 認証制度を取巻く国際情勢<br>(WTO/TBT協定、域内共通化の動向)         |                 |
| 4章 | 試験・認証機関の効果的活用<br>(効果的・効率的認証実現のために)           |                 |
| 5章 | 認証の将来展望<br>(製造者に求められる国際的認証政策への参画)            | 認証責任者・<br>管理者向け |

3

## 事典の概要

### 第1章 認証の基本概念



## 認証のイメージ

認証に関する基本的な考え方が書かれている

4

## 事典の概要

## 第2章 国内外認証制度の現状

工場検査の概要も

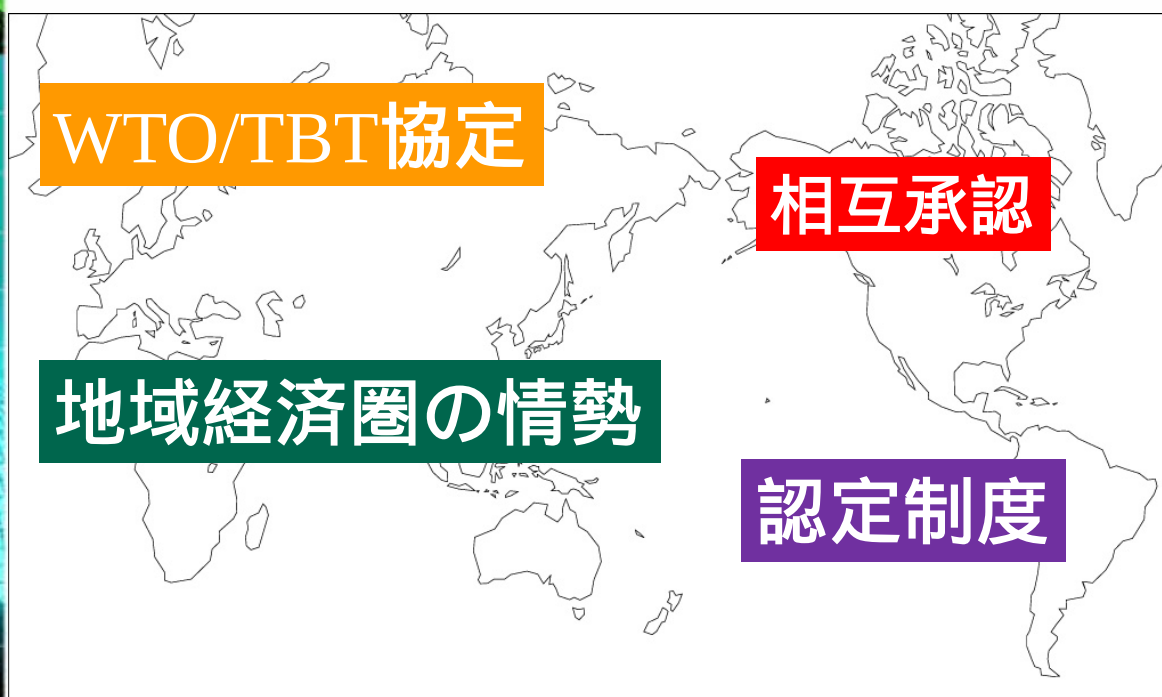


### IECの適合性評価制度

例えば、IECEE CB制度

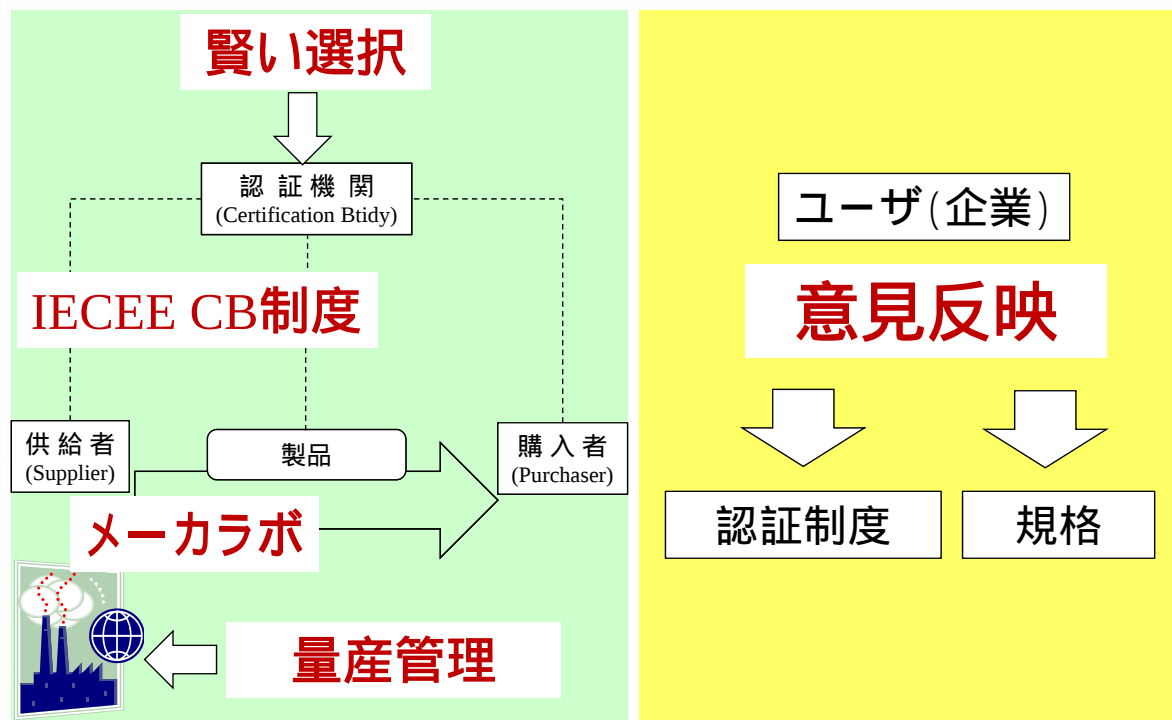
## 事典の概要

## 第3章 認証制度を取巻く国際情勢



## 事典の概要

## 第4章 試験・認証機関の効果的活用



7

## 事典の概要

## 第5章 認証の将来展望



### グローバルで活躍するためのアプローチ

8

## 第4版の改訂ポイント

基本的な構成は、変更せず、以下内容を更新：

| 章   | 改訂ポイント                                                                                                                                                 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1章 | ・ 認証の基本概念における認証エレメントに関して<br><b>最新IEC/ISO規格</b> の内容に基づき更新                                                                                               |
| 第2章 | ・ 関税同盟の認証制度概要 <b>NEW</b><br>・ インドの認証制度概要 <b>NEW</b><br>・ 中国の工場検査概要（CCC認証） <b>NEW</b><br>・ IEC, IECEE CB制度の最新内容更新<br>・ 国内外電気安全 <b>適合（認証）マーク制度一覧表の更新</b> |
| 第3章 | ・ WTO/TBT, MRAに関する基本事項の最新反映<br>・ 域内共通化の最新動向を反映                                                                                                         |
| 第4章 | ・ 規格策定プロセス、試験所認定制度の最新内容反映                                                                                                                              |
| 第5章 | ・ 現代に合わせた提言に更新                                                                                                                                         |

原則、**2014年3月末時点の最新情報**を盛り込み！

## II. 認証制度活用事典の 効果的活用方法の紹介

- (1) 技術法規担当部門の新人、中堅、責任者  
それぞれの立場での事典活用方法
- (2) 技術法規担当者が、社内に認証制度を  
認識させるための事典活用方法

## II. 認証制度活用事典の 効果的活用方法の紹介

- (1) 技術法規担当部門の新人、中堅、責任者  
それぞれの立場での事典活用方法
- (2) 技術法規担当者が、社内に認証制度を  
認識させるための事典活用方法

## 第1章：認証の基本概念

認証実務に携わっていない  
企業の一般社員向け

## 第2章：国内外認証制度の現状

## 第3章：認証制度を取巻く国際情勢

## 第4章：試験・認証機関の効果的活用

## 第5章：認証の将来展望

認証に関する実務経験があり、新規の国・地域への製品  
展開にあたっての合理的な  
認証手法を必要とする認証  
技術者向け本質的な評価手法を目指し  
た認証責任者・管理者向け

事典 序章(1～2ページ)参照

13

(1) 技術法規担当部門の新人、中堅、責任者  
それぞれの立場での事典活用方法

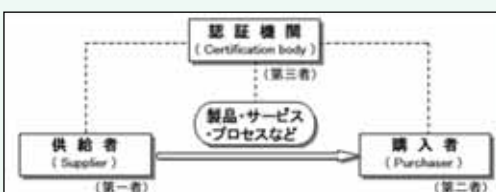
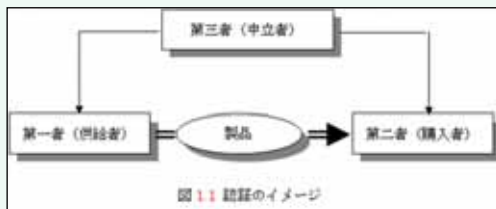
| 職制                           | 事典内容    | 対象者 |
|------------------------------|---------|-----|
| 認証実務に携わっていない一般社員向け           | 第1章～第2章 | 新人  |
| 認証に関する実務経験がある技術者向け           | 第2章～第4章 | 中堅  |
| 本質的な管理手法を目指した<br>認証責任者・管理者向け | 第4章～第5章 | 責任者 |

14

「基礎知識を身につけ、認証制度の情報を正しく理解する」ために、  
新人のみなさんには必ず読んで頂きたいところです

## 第1章 認証の基本概念

### 認証とは？



製品などに貼付されているマーク  
のことからスタート

「認証とは」

- 誰が？
- どのように証明？
- 規格・基準に従うとは？

「適合性評価」とは？

「認定機関」と「認証機関」

事典1.1項(3～7ページ) 参照

15

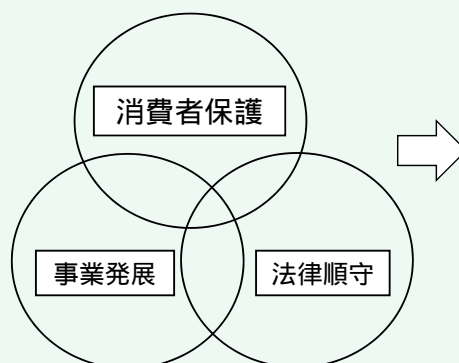
## 第1章 認証の基本概念

### なぜ 認証が必要なのか？

表 1.1 工業規格と認証制度の発展段階

| 年代   | 時代             | 認証活動                  |
|------|----------------|-----------------------|
|      | 無規格時代          |                       |
| 1900 | 企業・産業規格時代      | 世界の主な認証機関発足(表 1.2 参照) |
| 1940 | 規格・標準化要求時代     | 欧州で地域認証制度スタート         |
| 1960 | 消費者保護時代        | 国家認証強化の動き             |
| 1980 | 国際規格化時代        | CB 制度スタート             |
| 1990 | ボーダーレス化時代      | 認証データの相互受入れの動き        |
| 2000 | 認証制度の国際標準化要求時代 | ワンストップ認証の動き           |
| 2010 | 自己責任時代         | 「事前規制」から「事後規制」の動き     |

歴史を振り返りながら、欧米中心に展開された認証の概念の変遷を理解



自己責任時代

事典1.2～1.3項(8～15ページ) 参照

16

## 第1章 認証の基本概念

## 規格とは？

「規格は認証に使われる道具」

- 適用が強制(強制規格)
- 適用が任意(任意規格)

規格開発の流れ



規格の分類を理解する

- a. 用語・記号・単位などを規定した基本規格。
- b. 測定方法や試験方法などを規定した方法規格。
- c. 製品の品質・性能・寸法・試験・検査などを規定した製品規格。

危険要因を理解する

- 電気製品の安全性に係わる危険要因
- a. 火災 (過熱、故障時の使用)
  - b. 感電 (部品劣化、漏電、誤使用)
  - c. 傷害 (商品の転倒・落下、シャープエッジ)
  - d. 爆発・爆燃 (電解コンデンサー、充電電池、ブラウン管等)
  - e. 毒性 (純煙、廃棄時)
  - f. 電磁波及び放射線障害 (X線・レーザー光線・紫外線)

事典1.4.1項(16～19ページ)参照

17

## 第1章 認証の基本概念

## 認証の基本エレメントとは？

3つのエレメント

「規格に基づく製品評価」  
「生産工場の管理体制の評価」

合格 → 認証

「監視と事後措置」に注意

ISO/IEC17067 Scheme Type 5

国際的に採用されている製品認証のシステムを理解する

国・地域の法律の規制目的により運用が異なることも理解する

事典1.4項(15～24ページ)参照

18

表1.8 ISO/IEC 17067:2013による第三者認証システムの分類

| 製品認証システムの審査                                 | 製品認証システム |    |   |   |   |   |   |    |
|---------------------------------------------|----------|----|---|---|---|---|---|----|
|                                             | 1a       | 1b | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 5* |
| 1) 選択 (サンプリング)                              | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| 2) 特性の確定                                    |          |    |   |   |   |   |   |    |
| a) 試験                                       |          |    |   |   |   |   |   |    |
| b) 検査                                       |          |    |   |   |   |   |   |    |
| c) 設計評価                                     | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| d) サービス又はプロセスの評価                            |          |    |   |   |   |   |   |    |
| e) その他の確定活動 (例えば、検証)                        |          |    |   |   |   |   |   |    |
| 3) レビュー (Evaluation)                        | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| 4) 認証決定                                     | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| 5) 証明、ライセンスの授与                              |          |    |   |   |   |   |   |    |
| a) 認証書又はその他の適合の表明の発行 (証明)                   | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| b) 認証書又はその他の適合の表明の使用権の授与                    | ○        | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| c) 製品パッチに対する認証書の発行                          |          |    | ○ |   |   |   |   |    |
| d) サービスライセンス又はパッチの認証に基づく適合マーカの授与 (ライセンスの授与) |          |    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| 6) サービスライセンス                                |          |    |   |   |   |   |   |    |
| a) 市場からのサンプリングの試験又は検査                       |          |    | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○  |
| b) 工場からのサンプリングの試験又は検査                       |          |    |   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |
| c) 製品の生産、サービスの提供又はプロセスの運用の評価                |          |    |   |   | ○ | ○ | ○ | ○  |
| d) 無作為試験又は無作為検査と組み合わせたマネジメントシステム監査          |          |    |   |   |   | ○ | ○ | ○  |

「国内或いは主な国の認証制度の現状、IECの制度を理解」するために新人・中堅の方に読んで頂きたいところです

## 第2章 国内外認証制度の現状

## 製品/部品の認証制度？

### 日本の認証制度を解説

電気用品安全法

消費生活用製品安全法

Sマーク制度

電気用品に使用される部品・材料登録制度 (CMJ 登録制度)

JIS マーク表示制度



### 主な国・地域の認証制度を解説

アメリカ合衆国



カナダ



欧州



中国



ロシア・カザフスタン・ベラルーシ



インド



サウジアラビア



ULの c-UL サービス  
CSAの CSA-NRTL  
サービス

事典2.1項 (25 ~ 86ページ) 参照

19

## 第2章 国内外認証制度の現状

## 工場の管理体制とは？

### 品質マネジメントシステム

製品  
部品・材料  
型式試験

認証機関  
契約代行機関

工場検査

同一条件の製品が  
継続して生産できて  
いるか現場確認

QMSのフレームワークの中で  
量産製品及び/または認証条  
件に係る管理プロセスを評価

日本 Sマーク  
北米 UL/CSA  
欧州 安全認証  
中国 CCC、等

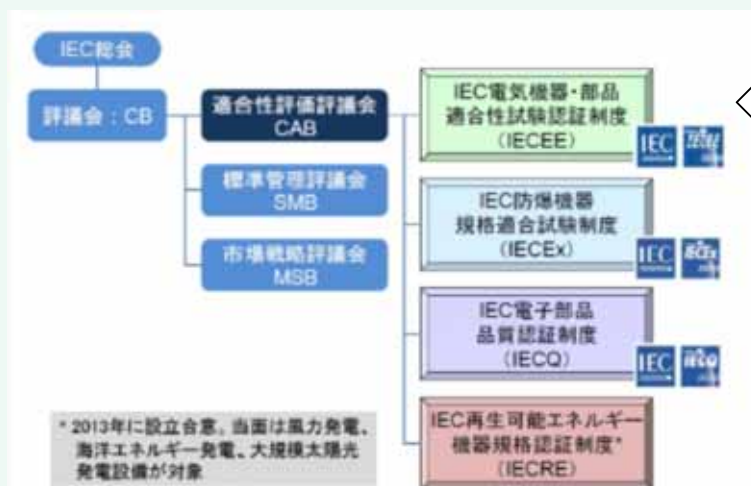
事典2.2項 (87 ~ 107ページ) 参照

20

## 第2章 国内外認証制度の現状

## IECの適合性評価制度？

IECの最高決議機関 IEC 評議会の元、三つの分野別評議会がある。このうち CAB(適合性評価評議会)が傘下の三つの IEC 適合性評価制度を統括管理することとしている。



CB 制度

共通の制度へ

事典2.3.1～2.3.2.1項(108～111ページ)参照

21

## 第2章 国内外認証制度の現状

## 適用規格、NCB/CBTL？

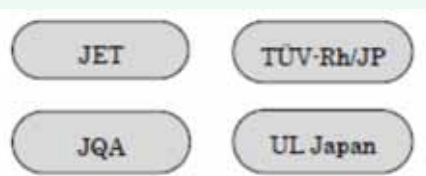
## CB制度に適用される製品分野と規格

表2.16 IEC EE CB制度に適用される主な製品分野と規格 (2013年12月現在)

| スコープ | 対象分野           | 適用IEC規格                                                                                                                                                  |
|------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| BATT | 電池             | 60086, 60095, 60099, 60254, 60571, 60622, 60623, 60783, 60785, 60896, 60952, 61133, 61809, 61951, 61960, 61982, 62133, 62257, 62259, 62281, 62282, 62660 |
| CABL | 電線コード          | 60227, 60245, 60502, 60702, 60800, 60840, 62067, 62275                                                                                                   |
| CAP  | キャパシタ          | 60252, 60384, 60831, 60939, 61048, 61049, 61071, 61881                                                                                                   |
| CONT | 機器用及び自動制御用スイッチ | 60255, 60691, 60730, 60934, 61095, 61508, 61810                                                                                                          |
| E3   | 電気エネルギー効率      | 60299, 60311, 60312, 60350, 60379, 60436, 60442, 60456, 60496, 60508, 60530, 60535, 60619, 60661, 60665, 60675, 60705, 60879,                            |

多くの IEC 規格  
が採用されている  
ので、該当規格を  
確認

## 日本の NCB と CBTL



日本は4つの NCBが登録され  
おり、いずれの活用が妥当か  
確認

事典2.3.2.2～2.3.5(112～137ページ)参照

22

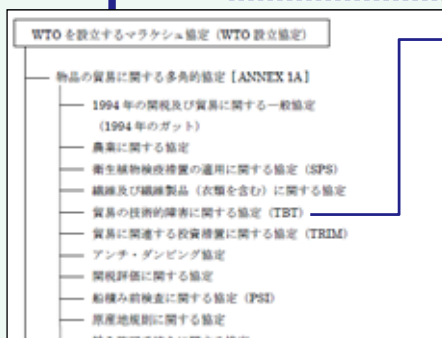
「認証制度を取巻く国際情勢を理解し、合理的な制度実現へ向けた取り組みを推進」するために、中堅のみなさんに読んで頂きたいところです

### 第3章 認証制度を取巻く国際情勢

#### WTO協定とTBT協定？

#### WTO 協定

加盟国は159カ国、その目的は「市場経済原則によって世界経済の発展を図る」こと



#### TBT 協定

#### 貿易の技術的障害に関する協定 (TBT 協定)

附属書1: この協定のための用語及びその定義  
附属書2: 技術的専門部会  
附属書3: 任意規格の立案、制定及び適用のための適正実施規準

工業製品の各国の規格及び認証制度が不必要な貿易障壁とならないようにする

情報のキャッチアップ(個社で可能)  
国・工業会等からのコメント提出

#### TBT通報

強制規格、任意規格及び適合性評価手続きなど基準認証制度の制定や改正の際に、その原案を通報し、加盟国からのコメントを受ける透明性を確保する上での国際的な手続き

事典3.1項 (138～152ページ) 参照

23

### 第3章 認証制度を取巻く国際情勢

#### 相互承認とは？

#### 相互承認

参加機関によって、政府間相互承認、認定機関間相互承認、試験・認証機関間相互承認がある  
MRA、MLA、MoU など、グローバルに展開する上で、相互承認を理解し、効率的な製品認証手続きのオプションとして活用が可能

#### 日本が締結した6つの国と地域



#### 経済ブロックにおける認証制度の情勢

欧州自由貿易圏  
南米自由貿易圏  
ASEAN 自由貿易圏  
北米地域自由貿易圏

事典3.2～3.3項 (153～170ページ) 参照

24

## 第3章 認証制度を取巻く国際情勢

## 試験・認証機関？

## 認定制度と相互承認

## 機関能力の同等性確認の仕組み

日本の試験所認定制度、製品認証機関認定制度

JAB、VLAC(VCCI)、IA Japan  
JAB、JASCの製品認証機関 認定制度

国際な試験所認定制度

ILAC による試験所 登録制度(ILAC - MRA)  
APLAC, EA などとも相互承認

事典3.4項(171～193ページ)参照

25

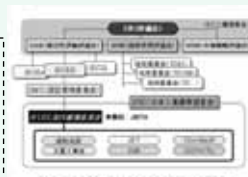
「試験所・認証機関と上手に付き合う知見を身につける」ために、中堅・責任者の方に読んで頂きたいところです

## 第4章 試験・認証機関の効果的活用

## 提案活動？

## 規格・認証制度への提案

## JEITA からのユーザー提案

IEC, 整合規格、JIS、  
UL へユーザ提案  
(例示)IEC 規格審議 (TC 108)  
JIS 規格審議IECEE - CB制度、日本国内  
認証制度、海外認証制度へ  
ユーザ提案電気用品安全法  
Sマーク制度  
CMJ 登録制度工業会から審議団体、あるいは直接、  
あるいは海外関係団体から意見を提出

事典4.1～4.2項(194～217ページ)参照

26

## 第4章 試験・認証機関の効果的活用

## 賢い選択と活用 ?

## 認証制度の賢い活用

One standard, one test, accepted everywhere !

## IECEE CB 制度の活用

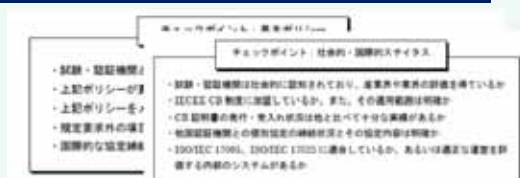


Time to Market Place の短縮化



IECEE ホームページより「IECEE CB Scheme」

## 試験所・認証機関の選択

8項目の  
チェックポイント

事典4.3 ~ 4.4項 (218 ~ 235ページ) 参照

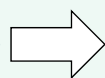
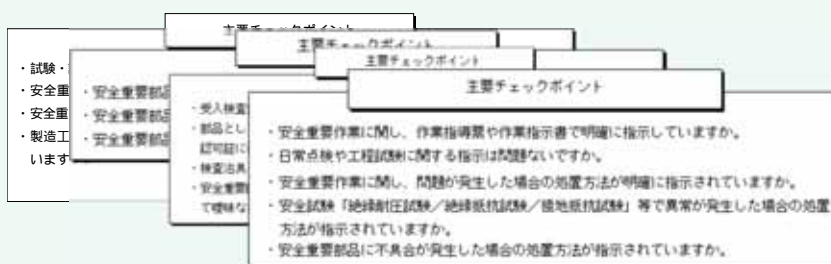
27

## 第4章 試験・認証機関の効果的活用

## 量産管理 ?

## 認証制度の量産管理への展開

## 川上における安全管理

安全重要部品に関する管理  
部品管理部門に関する安全管理  
部品受入検査部門に関する安全管理10項目の  
チェックポイント

モノづくりの入口から出口までのプロセス管理

事典4.5項 (236 ~ 261ページ) 参照

28

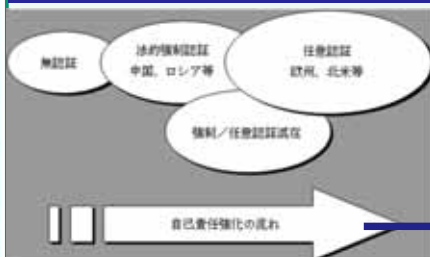
「国際整合化の動きを見据えた認証方針、制度合理化に向けて世界へ提言できる技術法規スペシャリストの育成」を責任者へお願い

## 第5章 認証の将来展望

## 急速なグローバル化と認証業務？

### 管理の範囲は拡大している

#### メーカーのあり方



#### 自己責任時代へ

#### 製品認証

#### 事後規制

### 自己責任時代の適合性評価活動へ変革が迫られている



### メーカーが主役の認証制度実現をめざしたメーカーラボのあり方

事典 第5章 (262 ~ 274ページ) 参照

29

## II. 認証制度活用事典の 効果的活用方法の紹介

- (1) 技術法規担当部門の新人、中堅、責任者  
それぞれの立場での事典活用方法
- (2) 技術法規担当者が、社内に認証制度を  
認識させるための事典活用方法

30

(2) 技術法規担当者が、社内に認証制度を認識させるための事典活用方法

## ケーススタディ

| ケーススタディ         | 関連部門    |
|-----------------|---------|
| これを売りたい!! (1)   | 初心者     |
| これを売りたい!! (2)   | 初心者     |
| ワールドワイド販売展開 (1) | 商品企画部門  |
| ワールドワイド販売展開 (2) | 商品企画部門  |
| 定格銘板            | デザイン部門  |
| 新技術製品の開発        | 開発・設計部門 |
| 部品のコストダウン       | 部品技術部門  |
| 部品調達先の変更        | 調達部門    |
| 工場検査            | 製造部門    |
| 商談              | 営業部門    |
| 認証制度            | 全部門     |

31

## 登場人物

日常業務の中での以下の人たちとのやり取りを用意

企画担当Aさん



営業担当Bさん



デザイン担当Cさん



設計担当Dさん



製造担当Eさん



調達担当Fさん



法規担当Gさん



32

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ これを売りたい!! (1)

企画担当Aさん

「来月からA社の電気電子機器をOEMで調達して、輸入販売する計画です」

法規担当Gさん

「技術法規部門へ電気用品安全法対応の要否確認をした？」

企画担当Aさん

「A社も国内販売してるから大丈夫だと判断しています」

法規担当Gさん

「電気用品安全法は事業者ごとに届出が必要だよ！」

企画担当Aさん

「・・・」

33

## ケーススタディ これを売りたい!! (1)

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**国内外電気安全適合(認証)マーク制度一覧表**

事典 付属資料2-1-1(133～135ページ) 参照

**電気用品安全法**

事典2.1.1.1項(25～29ページ) 参照

34

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ これを売りたい!! (2)

企画担当Aさん

「インドの代理店と契約ができたので、来月から●●の電気電子機器をインドで販売を開始します」

法規担当Gさん

「その製品は、強制登録制度の対象製品だけど、登録していないよ！」

企画担当Aさん

「登録だけならすぐに対応できますよね」

法規担当Gさん

「現地試験と登録に最低でも6ヶ月くらいはかかるよ！」

企画担当Aさん

「・・・」

35

## ケーススタディ これを売りたい!! (2)

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**国内外電気安全適合(認証)マーク制度一覧表**

事典 付属資料2-1-1 (133～135ページ) 参照

**インドの認証制度**

事典2.1.7項 (81～85ページ) 参照

36

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ ワールドワイド販売展開(1)

企画担当Aさん

「今度の新商品Xはワールドワイドで販売します!!」

法規担当Gさん

「ワールドワイドで認証を取得するの？」

企画担当Aさん

「はい」

法規担当Bさん

「費用と時間がどれくらいかかると思ってるの？」

企画担当Aさん

「...」

37

## ケーススタディ ワールドワイド販売展開(1)

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**国内外電気安全適合(認証)マーク制度一覧表**

事典 付属資料2-1-1(133～135ページ) 参照

**製品及び部品・材料の認証制度**

日本(2.1.1)、北米(2.1.2)、欧州(2.1.3)、中国(2.1.4)、  
サウジアラビア(2.1.5)、関税同盟(2.1.6)、インド(2.1.7)

事典2.1項(25～85ページ) 参照

38

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ ワールドワイド販売展開(2)

企画担当Aさん

「今度の新商品Xはワールドワイドで販売します」

法規担当Fさん

「ワールドワイドで販売するとなると、電源プラグをどうする？」

企画担当Aさん

「どういう意味ですか？」

法規担当Fさん

「全ての種類の電源プラグを準備して同梱するのはコスト的にも、管理上も無理だよ」

企画担当Aさん

「・・・」

39

## ケーススタディ ワールドワイド販売展開(2)

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

### 電源プラグ一覧

事典 電源プラグ一覧(137ページ) 参照

国毎にどのタイプの電源プラグが使われているかは、IECのWebサイトで調べることが可能です。

World plugs

<http://www.iec.ch/worldplugs/>

事典 付属資料2-1-1(133～135ページ) 参照

事典 付属資料2-1-2(136ページ) 参照

40

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 定格銘板

デザイナーAさん

「今度の新商品Xは、見栄えが良くなるよう定格銘版を ● mm × ○ mm と小さくして、見栄えを良くします」

法規担当Bさん

「そんなに小さかったら認証マークを入れるスペースが殆ど無いから、出荷国毎に定格銘版を変えないといけなくなり、コストアップになる」

営業担当Cさん

「コストアップは困る」

デザイナーAさん

「…」

41

## ケーススタディ 定格銘板

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**国内外電気安全適合(認証)マーク制度一覧表**

事典 付属資料2-1-1(133～135ページ)参照

42

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 新技術製品の開発

設計担当Dさん

「新技術を確立したので、全く新しい製品を開発するんだけど、守るべき安全基準は何を見れば良いの？」

法規担当Gさん

「とりあえず認証機関に相談してみるしかないかな？」

設計担当Dさん

「どこの認証機関が良いか知っていたら教えて」

法規担当Gさん

「この件だったら、J認証機関かK認証機関が良いかな？」

設計担当Dさん

「とりあえず両機関に相談してみるよ！」

43

## ケーススタディ 新技術製品の開発

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

### 試験・認証機関の賢い選択

- ・試験・認証機関としての基本ポリシーが確立しているか
- ・透明性・公平性が維持されているか
- ・社会的・国際的なステータスが確保されているか
- ・総合的な技術力があるか
- ・認証取得に関わる期間・コストは適切か
- ・業務の改善・合理化努力が行われているか
- ・利用者への付帯サービスが充実しているか
- ・工場調査に関する手法や検査の質は適切か

事典4.4項(229～235ページ)参照

44

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 部品のコストダウン

調達担当Fさん

「商品XのY部品についてメーカーからの提案で、コストダウンになるので、違う部品に変更します」

設計担当Dさん

「Y部品は安全重要部品だよ」

法規担当Gさん

「安全重要部品を変更したら再試験が必要で〇ヶ月、●●万円かかるけど、それでもコストダウンになる？」

調達担当Fさん

「...」

45

## ケーススタディ 部品のコストダウン

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**プロセス管理**

事典4.5.1項(236～250ページ)参照

46

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 部品調達先の変更

調達担当Fさん

「商品XのY部品について、売込みがあり、コストダウンになるのでV社品と同等のW社の部品に切り替えます」

設計担当Dさん

「B部品は安全重要部品だよ」

法規担当Gさん

「安全重要部品を変更したら再試験が必要で○ヶ月、●●万円かかるけど、それでもコストダウンになる？」

調達担当Aさん

「・・・」

47

## ケーススタディ 部品調達先の変更

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

**プロセス管理**

事典4.5.1項(236～250ページ)参照

48

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 工場検査

法規担当Gさん

「X国Y認証の工場検査のため、検査員が来るので、対応よろしくお願ひします」

製造担当Dさん

「X国Y認証の工場検査って何をすれば良いの？」

法規担当Gさん

「X国Y認証を取得するときに、●●検査とその記録の保管をお願いしてましたよね」

製造担当Dさん

「それならやってるよ。X国Y認証のためだったんだっけ」

法規担当Gさん

「…」

49

## ケーススタディ 工場検査

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

### 工場検査

日本のSマーク工場調査(2.2.1.1)

北米ULとCSAの工場検査(2.2.1.2)

欧州認証機関の工場検査(2.2.1.3)

中国のCCC工場検査(2.2.1.4)

事典2.2.1項(87～103ページ)参照

### 認証制度の量産管理への展開

事典4.5項(236～251ページ)参照

50

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 商談

営業担当Aさん

「商品Xについて、B国の販売代理店と契約がまとまったので、1ヵ月後から出荷を開始します」

法規担当Cさん

「商品Xは認証取得していないから、1ヵ月後の出荷は無理だよ」

営業担当Aさん

「何ですか？」

法規担当Cさん

「B国認証を取得し、製品に認証マークを付けなきゃならないから3ヶ月は必要だよ」

営業担当Aさん

「…」

51

## ケーススタディ 商談

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

### 製品及び部品・材料の認証制度

日本(2.1.1)、北米(2.1.2)、欧州(2.1.3)、中国(2.1.4)、  
サウジアラビア(2.1.5)、関税同盟(2.1.6)、インド(2.1.7)

事典2.1項(25～85ページ)参照

52

社内でこんなことはありませんでしたか？

## ケーススタディ 認証制度

法規担当Gさん

「来年1月1日からH国で安全認証制度が始まります」

設計担当Dさん

「情報展開が遅い!!もう2ヶ月しかないじゃないか」

法規担当Gさん

「公布されたのが最近なんだから仕方ないじゃないですか!業界団体を通じて施行延期を申し込んではいるけど、準備は進めましょう」

設計担当Dさん

「何をすれば良いの？」

法規担当Gさん

「試験はCBレポートが活用できるけど、定格銘板へマークを入れることと、取扱説明書に必要な記載を入れる必要があります」

53

## ケーススタディ 認証制度

こんな時は事典のこの部分が参考になります。

### 海外の認証制度への提言

- ・WTO関連交渉(4.2.3.1)
- ・各国との二国間・地域間協議(4.2.3.2)
- ・工業会から直接相手国機関へ要請(4.2.3.3)
- ・海外関係組織からの意見提出(4.2.3.4)
- ・海外の業界団体への働きかけ(4.2.3.5)

事典4.2.3項(212～218ページ)参照

### IECEE CB制度の効果的活用

事典4.3.1項(218～223ページ)参照

54

JEITA  
適合性評価システム委員会

下記ウェブアドレスにて  
事典CD-ROM\*頒布案内中

[http://www.jeita.or.jp/cgi-  
bin/public/detail.cgi?id=565&cateid=1](http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=565&cateid=1)

\*CD-ROMはコピープロテクトをかけています。